

令和4年度事業報告

I. 概 要

3年間にわたり、我国に大きな悪影響をおよぼした新型コロナウイルス感染症も、感染力は強いが比較的重症化リスクが低い「オミクロン株」への移行や新型コロナウイルスワクチンの接種拡大、新たな治療薬の開発などにより、やっと出口が見えてきました。一方では、ロシアのウクライナ侵攻と出口が見えない紛争の長期化がエネルギーの需給不安等を招き、世界経済に深刻な懸念材料となっております。

この様な中で、少子・高齢・人口減少が益々進む我が国において、地域社会を支える担い手として益々期待されるシルバー人材センター事業ですが、全国のシルバー人材センターの会員数は、全国100万人会員を目指し一時増加傾向となっておりましたが、コロナ禍の3年間は大幅減少を続け、ついに70万人を割る676,175人まで減少しております。

当シルバー人材センターにおいては、早期にウイズコロナの積極的な事業運営を目論み、積極的活動を展開してまいりました。結果として、目標とする会員数には及びませんでした。新入会者は昨年度を上回る216名（昨年度191名）、年度末の会員数が対前年度の31人増となりプラスに転じることが出来ました。

イベント等の魅せる広報では、「大阪マラソン」のボランティア活動や「ふるさと門真まつり」は盛大に参加協力できたものの、弁天池公園で開催する恒例の春の「スプリングカーニバル」、秋の「ふれ愛感謝祭」は、ともに天候に恵まれなかった事もあり、不本意な開催になりました。また、清掃ボランティア活動や定時総会の参加会員も、コロナ禍前の水準には遠く及ばない状況となりました。

一方、当センターの活動を取り巻く状況は、昨年一昨年度に引き続き大変厳しい1年間ではありましたが、第二次の中長期計画【マスタープラン】に掲げた事業目標実現に向けて、新たに総務省のデジタル活用支援推進事業を受託しての「かんたんスマホ教室」の開催や令和5年にパナソニック跡地に開業する大型ショッピングモールでの就業開拓、その一方多くの会員が就業した市リサイクルプラザの選別業務が終了することなど、次の十年への足がかりとなる就業開拓、事業活動を模索する年度となりました。

結果として令和4年度の当センター事業の実績は、コロナ禍の影響も残り、多くの業態が低迷する中、大幅な下落も懸念されておりましたが、請負事業は若干の下落したものの、派遣事業については、昨年度を上回る過去最高の事業実績を納めることができました。

また、創意工夫事業、第二層生活支援コーディネーター業務においては、感染防止対策を試みながら、高年齢者の活躍できる場や地域社会への貢献事業として、拡大することが出来ました。

また、安全適正就業対策の一環として、事故0を目指す安全啓発標語を公募し、定時総会で披露する等の周知に努めました。

センター事業の要となる事務所の新築に向けて、建設委員会を立ち上げ、計画の具体案の策定を目指しました。

なお、本年度の活動の詳細を、以下の通り報告いたします。

【会員数を増やす】

入会説明会・研修会を月3回に分け少人数定員制で実施するなどの感染予防対策を講じ実施しました。

コロナ禍での巣ごもりからの反動や広報紙での広告の影響もあり、4月以降、入会説明会の参加者数が増加し、241名となりました。また、取り組みやすい公園・史跡・市営団地周辺の清掃等未就業対策を実施し、退会者の減少を図りました。

【就業機会を拡大する】

請負事業については、既存契約企業へのPRやアフターケアなどにより民間企業からの受注は増加したものの、門真市からの受託事業（学校施設消毒業務、夜間施設確認業務など）が終了・縮小したことから、前年度比97.77%の契約金額実績となりました。

派遣業務については、コロナの影響により学校関係の求人が縮小したものの、民間企業への積極的営業により、前年度比106.73%の契約金額実績となりました。

会員の活躍の場創出の創意工夫事業については、コロナウィルス感染防止対策を行ないながら、第2層生活支援コーディネーター業務、福祉有償運送事業や喫茶事業等の独自事業を展開しました。

【『魅せる広報活動』を進める】

コロナウィルスによる緊急事態宣言の解除を受け、元気なシルバー会員の活躍の場として取り組んでいた「魅せる広報活動」を再開しました。

4月29日にはスプリングカーニバルを、11月23日にはふれあい感謝祭を、それぞれ門真市弁天池公園にて3年ぶりに再開しました。イオン屋上でのカラオケ選手権、門真もん市、金魚すくい選手権、日本の食祭り、音楽とエコキャンドルナイト、ラブリーフェスタ、エコフェスティバル、スポーツ・レクリエーションフェスティバル、キタショウカーニバルなど数多くのイベントに協賛しました。

また、8月6日には3年ぶりに復活したふる里門真まつりの開催に参画し、ブースの設置やうちわの配布等、来場された市民の方に対する事業の普及啓発を行ないました。

【安全・適正就業を推進する】

今年度より職種別及び一般の適正就業特別研修会を再開させ、具体的な事故・トラブル事例の紹介など、安全・適正就業を推進しています。また、会員聞き取り調査や安全就業パトロールも開始し、会員の安全意識の向上を図っています。

健康維持調査に関しては、昨年度まで実施していた『健康生活アンケート』に代わるものとして、ダイヤ高齢社会研究財団より『シルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する研究調査事業』を受託し、当センター会員及び一般高齢者の方への調査を実施しました（令和5年度末～令和6年度に調査結果が発表となる予定です）。

【公益社団法人として統治・管理を強化する】

三役部会長会議を中心に案件を審議し、第1～7回の理事会にて、審議案件28件、承認案件9件、報告案件27件を提案し可決承認されました。

令和4年5月6日に令和3年度監査を、令和4年11月18日に令和4年度中間監査をそれぞれ行い、監事より法令に違反する事案や各諸帳票の確認がなされました。

部会・委員会等に新たな役員を選任しました。また、シルバー事業の運営に参画できる人材を多数登用し、組織体制の強化を図りました。

[2] 数値目標に対する実績

① 正会員数

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和4年度 (実績)
正会員数(人)	1,605	1,700	1,636
【内】新入会者	191	220	216

② 契約件数

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和4年度 (実績)
受託事業(件)	4,502	4,600	5,049
派遣事業(件)	300	320	318

③ 契約金額

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和4年度 (実績)
受託事業(千円)	377,906	400,000	369,467
派遣事業(千円)	282,617	320,000	301,632

④ 就業率

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和4年度 (実績)
就業率(%)	93.6	90	92.5

⑤ 就業実人員

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和4年度 (実績)
受託事業(人)	1,222	1,300	1,224
派遣事業(人)	435	500	446

⑥ 就業延人員

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和4年度 (実績)
受託事業(人)	110,960	120,000	106,340
派遣事業(人)	54,944	58,000	57,848

〔3〕 事業実施内容

【1】 会員数を増やす

(1) 入会促進

1、入会説明会の開催

- ・入会説明会をセンター会議室、弁天池公園管理事務所、市民プラザの3か所で実施し計36回開催しました。
- ・WEB入会を目指し、入会説明動画の作成の試行を検討しました。
- ・ハローワーク等職業斡旋機関や一般企業でのPR活動の実施を検討し、ハローワークでの入会勧誘を2回実施しました。

(四半期ごとの入会説明会参加目標)

(単位：人)

参加者数	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度 目標	50	50	70	50	220
令和4年度 実績	73	61	57	50	241

2、新入会員研修会及び体験就業の実施

- ・入会説明会に参加され入会を希望された方に対し、当センターの組織・運営・規約を伝えるための研修会を計26回開催しました。
- ・入会后すぐに就業についていただけるよう体験就業を計26回実施しました。
- ・大シ協の就業体験事業(11月クリーンスタッフ講習、11月喫茶スタッフ体験)を実施し、新入会員の獲得と事業のPRに努めました。

(四半期ごとの参加者目標)

(単位：人)

参加会員数(人)	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度 目標	50	50	70	50	220
令和4年度 実績	60	34	55	67	216

3、多種多様な年齢層へのアプローチ

- ・市役所ロビー等の公共施設や企業訪問を通じPR活動を図りました(市役所別館での入会・仕事相談を23回実施)。
- ・女性活躍推進委員会によるイベントを通じ女性への入会促進を図りました(ホウ酸団子作り、ハスの葉染め体験を実施)。
- ・体験就業会や技能講習会などを開催し入会促進に努めました(11月に大シ協クリーンスタッフ講習及び喫茶体験就業を開催)。
- ・ホームページや機関紙等で多様な就業の内容を公開し、情報公開に努めています。
- ・イベント、ボランティア活動を通じ市民への事業のPR活動を図っています(別掲)。

4、口コミによる入会活動

- ・既入会会員による紹介活動「会員紹介キャンペーン」は実施できませんでした。

(2) 魅力的なセンターづくり

1、同好会活動

- ・公認同好会組織への活動支援をするとともに、新たな同好会の発足の支援を行なっています（事務局通信に記事掲載）。

2、フレンドリーショップ制度

- ・登録店舗で商品の割引等、特典が利用できる「シルバーフレンドリーショップ」の制度を継続します。しかしながら、会員の満足度調査、登録店舗への事業のPR活動、就業機会拡大のため就業開拓部会員による2ヶ月に1回の訪問活動は実施出来ませんでした。

3、満足度調査

- ・在会1～2年会員アンケートの実施
令和2～3年度に入会された会員203名に対し、満足度向上及び退会抑制、安全就業推進を目的としたアンケート調査を実施しました（別掲）。

4、インターネット、アプリ、SNSの活用

- ・アプリの開発や、ホームページの活用を進め会員サービスの向上、事業をより効果的にPRする方法を探りました。アプリ開発ではセンター事業への貢献度（ボランティアやイベントボランティア参加者等）に対し、ポイントを付与が出来る機能を検討しました。総務省のデジタル活用支援推進事業を実施しました（別掲）。

【2】就業機会を拡大する

豊かな能力・技術・経験のある方、ホワイトカラー層、80歳以上の方、ハンディキャップをお持ちの方等、会員の様々な経歴・環境・希望に対応し、適材適所で多種多様な仕事に対応しました。

(1) 生きがい就業の推進

受託事業・労働者派遣事業・創意工夫事業により、適材適所で多種多様な仕事に対応し、生きがい就業を推進しました。

1、受託事業の取組み

- ・地域で役立つ・頼られるシルバー人材センターとして、個人家庭の困りごとへの対応に強化を図るため利用者アンケートを実施し、調査結果を分析して満足度向上を図り、就業実績を向上させました。継続受注のアンケート結果を6月号の事務局通信にて報告しました。単発受注のアンケートは集計完了後事務局通信にて掲載いたします。
- ・アンケートでの調査結果や全国の事故事例・先進的取り組みを職種別研修に反映させ、就業実績向上につながるリーダー会員を育成に努めました。今年度29回の職種別研修を開催しました。
- ・地域班による個人家庭・地元商店・自治会・地元コミュニティ等に対し、チラシ配布・口コミなどの就業開拓を行ない、個人家庭・家事援助サービスの就業拡大を図りました。

- ・未就業会員の就業先確保のため、駐車場・公園・施設等、管理部門での一斉清掃・除草等、就業機会を確保に努めました（別掲）。

（四半期ごとの目標）

（単位：千円）

受託事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和4年度各期末目標	101,000	100,700	105,500	92,800	400,000
令和4年度実績	89,650	93,880	99,591	86,348	369,467

2、労働者派遣事業の取組み

- ・営業専門職員による市内事業者及び既存取引先への再アプローチを図り、介護・保育・運転等、人手不足分野を中心とした訪問営業活動に努めました。

（四半期ごとの目標）

（単位：千円）

派遣事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和4年度各期末目標	81,900	79,900	81,300	76,900	320,000
令和4年度実績	74,927	74,453	77,886	74,367	301,632

3、職業紹介事業の取組み

- ・直接雇用を希望する就業については、有料の職業紹介事業を行いました。

4、創意工夫事業

①訪問介護事業、総合支援事業

福祉事業の核となる事業とするため、介護初任者研修を終了した人材を広く募集し、会員として訪問介護・総合支援事業に従事するよう努めました。

（四半期ごとの目標）

（単位：千円）

訪問介護事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度各期末目標	5,400	5,400	6,000	6,000	22,800
令和4年度実績	4,388	4,604	4,813	4,774	18,582

① 第2層生活支援コーディネーター事業

第1層生活支援事業者と連携し、高齢者の介護予防に努めました。地域の高齢者のニーズを汲み取り相談窓口としての地位の確立に努めました。感染症対策を充分講じ地域の「通い場」作りの増設に努めました。

（箇所）

年度	令和4年度（目標）	令和4年度（実績）	令和3年度（実績）
通いの場の数（箇所）	20	16	14

② 福祉有償運送事業

要介護・要支援者、障がい者の外出支援の為、福祉有償運送事業を継続し実施しました。

（四半期ごとの目標）

（単位：千円）

福祉有償事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度各期末目標	500	500	600	600	2,200
令和4年度実績	486	439	554	396	1,877

③ 福祉作業所事業

就業を希望するが、体力に自信がない方、障がいを抱えた方等に対し、就業機会の提供を図りました。第2層生活支援コーディネーター事業の「通いの場」の一つとして市民に開かれた作業所を目指しました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

福祉作業所事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度各期末目標	450	450	800	420	2,120
令和4年度実績	448	503	502	410	1,863

④ 喫茶事業

喫茶「チエブクロー」の営業を継続実施しました。第2層生活支援コーディネーター事業の「通いの場」の一つとして市民に開かれた喫茶店を目指しました。また会員の手作り作品や地域の農作物、また他市シルバーの物品を販売することが出来るアンテナショップとしての活用を促進しました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

喫茶事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度各期末目標	600	900	900	900	3,300
令和4年度実績	937	875	911	836	3,559

⑤ 農園、農業事業

市の協力を基に、現在の柳田町・岸和田の市内2か所のシルバー市民農園事業運営を継続しました。今年度より会員が、農業に親しみ触れ合う機会と就業機会の両方を獲得できる市民農園の活用を目指しました。また伝統野菜『門真れんこん』の収穫体験、学習体験を通じ市民が郷土を愛する機会を創出すると同時に事業を通じセンターの様々な事業活動を広く市民に周知しました。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

農園・農業事業収入金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度各期末目標	2,570	40	100	250	2,960
令和4年度実績	2,249	27	545	239	3,060

⑥ 指定管理事業

センターの管理施設「弁天池公園」を、市民の交流スペースとして、市民から愛される公園として引き続き適正管理に努め魅力的な街作りに貢献しました。

(2) 就業の質の向上

講習・研修会の充実や満足度調査により就業の質を向上させ、また、会員目線・お客様目線により利便性を向上させることにより、就業機会を拡大しました。職種別研修会を29回実施し、お客様アンケート結果を事務局通信に掲載しました。

1、講習会研修会開催

- ・利用者アンケート結果や事故事例、全国の先進事例を取り入れた職種別研修を既存職域班全てにおいて実施し、当該職種に従事する全会員の方に受講していただくことで、リーダー及び次期リーダーを育成し就業の質を高めました。8月以降はマンション清

掃班、派遣班、広報配布班の職種研修を実施し、9月以降に一般の適正就業特別研修会を実施しました。

- ・植木剪定・刈払機・襖張替等、後継者育成のための独自講習会を実施し、市民の方々の幅広いニーズに質の高い就業で対応しました。(6月の河北ブロック植木剪定講習会は2名が受講しました。また、9月に刈払機講習会、11月に大シ協クリーンスタッフ講習及び喫茶体験就業を開催しました)。
- ・9月より「デジタル活用支援推進事業」を活用し、スマートフォンの利用に関する支援を行なうことで、シルバーアプリを普及させ、デジタル活用に係る機会又は必要な能力における格差を是正し、就業報告等、お客様・就業会員の利便性向上を図りました(別掲)。

2、利便性向上の取組

- ・発注者様からのお仕事情報のホームページ掲載、ホームページからの仕事依頼の受付の充実を図りました。
- ・お仕事依頼者に対するサービスの概算見積額の目安を表示しています。サービスの概算額をホームページ及びチラシに掲載しました。
- ・会員の交代等による就業内容の変動を防ぐため、就業先の資料充実を図り就業の質の均一化に努めます。6月末までに請負継続従事の全会員に対し、仕様内容の再確認を行ないました。
- ・請求書同封によるお客様アンケートを実施し、顧客満足度 97.6%を獲得しました。事務局通信にてご報告しました。

【3】『魅せる広報活動』を進める

センター主催イベントや各種団体等のイベント参加時に、センターの活動や主旨が広範囲に浸透する工夫を凝らした普及啓発活動に努めました。

1、センターが主体となる普及啓発活動

- ・弁天池公園イベント実行委員会を組織し、指定管理施設「門真市弁天池公園」で、スプリングカーニバル(4月29日開催、1,490名来場)を、ふれあい感謝祭(11月23日開催、1,400名来場)を、それぞれ開催しました(別掲)。
- ・清掃ボランティア活動として、弁天池公園清掃活動(毎月第1土曜日)市内清掃活動(毎月第3土曜日)を実施しました(別掲)。
- ・シルバー便利やDay(毎月第1・第3月曜日)を市役所ロビー・センター事務所前で開催しました(別掲)。また随時シルバー便利やDayやサロンを地域に出張させ事業の普及啓発のみならず地域の絆を深める一助となりました。
- ・地域班組織が行う普及啓発活動を推進しました。

2、他団体が行う事業に協賛・協働し行う普及啓発活動を実施

- ・「古川橋ラブリーフェスタ・スプリングフェスタ」、「かどま市スポーツ・レクリエーションフェスティバル」「キタショウカーニバル」等、門真市の活性化を担う活動に参加しました。8月6日(土)はふるさと門真まつりに役員及びボランティアで約20名

の会員の方が参加しました。(別掲)

- ・センターの魅力を発信するため、大阪マラソン等門真市外で開催するボランティア活動にも参加しました。(別掲)

3、機関紙やマスメディア、またはソーシャルネットワークを駆使した広報活動

- ・テレビやラジオ、新聞などに積極的に働きかけ、センターの活動や魅力について情報発信しました。『門真市ゾンビ人材センター』について、3月には福井県第7回あわら湯けむり映画祭に入選し、6月にはドイツ第23回ハンブルグ日本映画祭賞を受賞、7月にはスペインバルセロナ国際映画祭外国短編映画部門グランプリを受賞、8月にはインドダイヤモンドベル国際映画祭に入選し、アスビックヴァルニ国際映画祭にて特別賞を受賞し、岡山県宇野港芸術映画座に入選しました。
- ・機関紙「門真市シルバー人材だより」を発行し、市広報11月号に折込し全戸配布しました。
- ・各種マスコミやケーブルテレビ『J:COM』や『FM-HANAKO82.4MHz』等に出演を行いました。
- ・年6回週刊大阪日日新聞に記事広告を掲載し会員の活躍について情報発信します。今年度は4月号及び7月号、10月号、12月号、1月号、3月号に掲載しました。
- ・生涯現役で就業活動が出来る魅力をSNSやホームページを通じ情報発信しました。
- ・設立40周年記念誌DVD『未来』をホームページにて公開し、当センターの活動や魅力・実績を発信しました。

4、ボランティア活動の推進

- ・協働できる団体や市民と連携を図り、門真市の美化活動に貢献しました。
- ・ボランティア推進委員会を中心に、年間のボランティア清掃活動事業の年間計画を作成し、毎月第1土曜日・第3土曜日を活動日として、組織的に清掃活動を実施しました。(別掲)
- ・地域の安全防犯活動として、青色防犯パトロールを市内全域で実施しました。

【4】安全・適正就業を推進する

会員の高齢化に伴い、安全対策、安全意識の向上を図り、安心・安全就業を推進しました。また、就業を通じた健康維持を推進し、福利厚生を充実させることで、会員の健康寿命の伸長を図りました。

(1) 安全就業の推進【事故0のために】

就業手順書の整備・徹底や安全研修会の充実、職域班リーダー育成体制の確立により事故発生を0にします。6月末までに請負継続就業会員に対し就業手順書にあたる業務仕様書の内容を確認し、職種別研修会を29回開催しました(別掲)

1、就業の手順書の整備・徹底の取り組み

- ・手順書内容を充実させ、職種毎の安全教育を徹底しています。6月末までに請負継続就業会員に対し就業手順書にあたる業務仕様書の内容を再確認しました。

2、安全適正部会や安全就業推進委員会による安全研修会(自転車・熱中症対策・天災・感

染症対策等)の充実

- ・職域班リーダーに安全に関する専門的講習を受講させ、リーダーによる安全教育を実施しました。職種別研修会を29回開催しました(別掲)
- ・夏場の熱中症予防や、高所作業の安全確認など、各作業のリーダーを中心とした安全教育を充実させました。職種別研修会にて高所作業時の安全帯の法改正に関する説明・注意喚起を行いました。
- ・門真警察署と協力し、会員向け自転車講習会を開催しました。

(2) 自己健康管理、健康診断の推進

市民健康診査の受診推奨や健康測定、生きがい就業の介護予防効果に関する共同研究事業の実施、福利厚生の実施等、健康寿命の伸長を図りました。

1、会員健康維持の取り組み

- ・大学等との連携による健康体力測定の実施を検討しました。

2、福利厚生の実施

- ・福利厚生の実施の取組みとして、健康教室の新設や同好会活動による健康維持を推進しました。
- ・認知症サポーター講座の開催によるオレンジリング活動により、軽度認知症の初期対応に努め、適材適所で業務への影響を0に努めました。安全適正部会にて認知症サポーター講座の普及に努めました。
- ・公認同好会組織と連携し、会員募集や活動支援するとともに、新たな同好会の発足のお手伝いをしました。
- ・会員の事業貢献度をポイント化する制度を整備し、会員に付与したポイントが還元される制度の構築を目指しました。

【5】公益社団法人として統治・管理を強化する

(1) 法人運営

1、コンプライアンスの徹底

- ・諸規程の整備にあたり11件の規則変更を行い事務局通信にて周知を行ないました。
- ・定時総会を開催し、総会参加者266名、議決権行使による参加796名によりすべての案件について賛成を得ました。
- ・公益等認定委員会に6月30日に定期提出書類を提出した。
- ・個人情報を守り、情報公開の適切な運用を実施しました。
- ・人権を尊重し、ハラスメント等に対しては迅速、適切に対処しました。

2、適正就業の推進

- ・臨時的かつ短期的、又はその他の軽易な業務については、法令で定められた時間内の業務を受注しました。
- ・「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づいた就業を促進する為、グループのローテーションやワークシェアでの就業を推進します。適正就業特別研修会を29回開催しました(別掲)

(2) 組織・運営体制の強化

- ・役員改選に伴い、理事・監事を選考する上で会員並びに職員より広く公募を行い組織の透明化を図りました。また、定時総会においてすべての役員が選出され法人運営の強化に努めました。
- ・安全適正部会だよりを4,7,1月に、安全就業だよりを8,10,12,3月に、適正就業だよりを8,9,10,11,12,1,2,3月に、それぞれ事務局通信同時掲載にて発行し、会員の皆様に対し安全就業・適正就業を推進し、健康増進を図りました。
- ・理事会、三役部会長会議を中心にした運営体制を強化しました。
- ・市内で活躍する人材を会員として迎え入れ組織強化を図りました。

1、地域班

- ・門真市立中学校地域割りの6班体制に変更いたしました。

2、職域班

- ・現在の職域班10班の体制を見直し、優先順位を付けて職域班の再編を行います。職種班研修を29回実施しました（別掲）。
- ・職域班ごとのリーダーを育成、職域班の活性に努めました。上記職種班研修によりリーダーを育成しました。

【6】 その他の事業運営の取組み

- ① ホームページ随時更新やラインのお友達登録の開始等のSNS活用を進めると共にWEB入会説明会開始を目指しました。
- ② 主に入会1年目の会員に対し、会員聞き取り調査を実施し、就業状況、会員意識や適性等シルバー人材センター会員事業を聞き入れるためのアンケート調査を行い、満足度の向上を目指しました。
- ③ 市内の民間企業に積極的な訪問営業を実施し、特に人手不足分野（運転業務、保育業務）などで、会員の就業を獲得しました。
- ④ 「復活」を合言葉に、弁天池公園でのイベント開催など、これまで取り組んできた事業や広報活動を積極的に再開できる環境づくりを目指しました。
- ⑤ 総務省のデジタル活用支援推進事業を受託し、高齢者のデジタル社会浸透に向けた「簡単スマートフォン教室」を開催し、SNS、パソコンやDX関係に高いスキルを持つ会員講師15名の育成を行ないました。